

👑 2011年トニー賞(主演女優賞)受賞 🏆 ニューヨーク演劇批評家賞(2010-11年・ベストプレイ賞)受賞

グッドピープル

作: デビッド・リンゼイ=アベアー | 翻訳: 黒田絵美子 | 演出: 鶴山 仁



2021年 10月19日

札幌市教育文化会館大ホール

グッドピープル

作: デビッド・リンゼイ＝アペアー

翻訳: 黒田絵美子 演出: 鶴山 仁

NLTプロデュース



マーギー

戸田恵子



ケイト

サヘル・ローズ



ドッティ

木村有里



ジーン

阿知波悟美



スティーヴィー

小泉駿也



マイク

長谷川初範

STORY

マーギーは、マサチューセッツ州のサウスボストンに住む中年のシングルマザー。1ドルショップのレジ係として働きながら、早産により障害を持って生まれた30代の娘ジョイスを養っている。そんなある日、遅刻の多さから勤め先をクビになってしまったマーギー。突如収入が絶たれ、途方に暮れる彼女は、ジョイスの面倒を見てもらっているアパートの大家ドッティと高校の同級生ジーンに相談を持ち掛ける。するとジーンから、高校時代の恋人マイクが医師として町に戻って来ていることを知らされる。意を決したマーギーは、仕事を紹介してもらおうとマイクに会いに行くが……。

TONY AWARDS

2011年春に上演されたブロードウェイ版は、同年のトニー賞で作品賞と主演女優賞の2部門にノミネート。圧倒的な存在感でマーギー役を演じたフランシス・マクドーマンド(映画「ファゴ」「スリー・ビルボード」)が見事主演女優賞に輝いた。また、2014年のロンドン公演でマーガレット役を務めたイメルダ・スタウトン(『ジブシー』)も、これまでに4度ローレンス・オリヴィエ賞を受賞するなど、イギリス演劇界を代表する名女優の一人。そのほか、ドイツ、スペイン、オーストラリア、スイスなど世界各地で上演されている本作。そのいずれの地でも名だたる実力派たちがマーガレット役に挑んでいる。

デビッド・リンゼイ＝アペアー × 鶴山 仁

子どもを失った夫婦の再生を描いた『ラビット・ホール』(06年)でビュリツァー賞を獲得した劇作家のデビッド・リンゼイ＝アペアー。ジョン・キャメロン・ミッチェル監督×ニコール・キッドマン製作・主演で映画化(10年)もされた同作や『グッドピープル』など、“普通の人々”の営みを皮肉やユーモアを交えつつ、温かみのある視点で描いた作品で高い評価を得ている。対して演出の鶴山仁は、シェイクスピア劇やギリシャ悲劇といった古典から、トム・ストッパード、マーティン・マクドナーら現代を代表する人気作家の作品まで、大小問わず数々の翻訳劇を手掛けてきた日本の演劇界を牽引する人気演出家の一人。その鶴山が、博品館劇場の濃密な空間にアペアーの描く“普通の人々”の営みをどう立ち上げるのか……乞うご期待!

ATTENTION

マーギーが暮らすサウスボストン(通称サウシー)は、今ではお洒落スポットとして人気だが、その昔はギャングやマフィアが横行する犯罪都市として知られていた。逆にマイクが暮らすチェスナットヒルは、ボストンの隣町ブルックライン(第35代アメリカ大統領ジョン・F・ケネディの生誕地)にある高級住宅地だ。

STAFF

作—— デビッド・リンゼイ＝アペアー

翻訳—— 黒田絵美子

演出—— 鶴山 仁

演出助手—— 山上 優

美術—— 乗峯雅寛

照明—— 古宮俊昭

音響—— 小林 史

衣裳—— 倉岡智一

舞台監督—— 竹内一貴

制作—— 小川 浩 (NLT)

樋口正太 (博品館劇場)

著作権代理—— タトル・モリ エイジェンシー

2021年10月19日火
開場17:45 開演18:30

札幌市教育文化会館大ホール 全席指定(税込) 7,700円

※未就学児入場不可 ※車いす席はローソンチケットでお買い求め下さい。

チケット取り扱い

教文プレイガイド

ローソンチケット (Lコード: 11925)

チケットぴあ (Pコード507-648)

イープラス、道新プレイガイド

札幌市民交流プラザチケットセンター

お問い合わせ

UHB北海道文化放送 011-214-5242

(土・日・祝を除く、10:00~17:00)